



1. 開催概要

GRENE北極気候変動研究事業では、5年間にわたる事業の総まとめとして「研究成果報告会」を開催します。本報告会では、文部科学省により提示された解明すべき4つの戦略研究目標に対する科学的成果と、その解明を目指して観測・研究を担ってきた7つの研究課題における研究成果の報告から、事業の到達点を確認しあうとともに、今後の北極気候変動研究の更なる発展に資することを目的としています。

日時： 2016年3月3日(木)10:00-17:30、 3月4日(金)9:30-16:30

場所： 国立国語研究所 2F講堂（東京都立川市緑町10-2 国立極地研究所隣）

主催： 情報・システム研究機構 国立極地研究所

2. 参加申込先

事前申込制です。HPより参加申込をして下さい。 <http://www.nipr.ac.jp/grene/20160303symposium/>

3. プログラム

ver.160219

2016年3月3日(木)

10:00 ごあいさつ

10:05 事業概要の報告ー5年間の取り組みについて

山内 恭 (国立極地研究所)

<各研究課題等からの成果発表>

陸域 座長:杉本敦子 (北海道大学)

10:15 北極気候変動にともなう東シベリア陸域環境の変化

飯島慈裕 (海洋研究開発機構)

10:30 周極域亜寒帯林の現存量・構造変化の歴史と気候変動に対する反応

大澤晃 (京都大学)

10:45 年輪解析と生態系モデルによる周極域森林生態系の過去・現在・将来

鄭俊介 (国立極地研究所/北海道大学)

11:00 モデラー観測連携 GTMIPの成果と将来に向けて

斉藤和之 (海洋研究開発機構)

温室効果気体 座長:青木周司 (東北大学)

11:15 スパールバル諸島ニーオルスン及びカナダ・チャーチルにおける大気中の温室効果気体および関連気体の変動

森本真司 (東北大学)

11:30 チャクチ海とカナダ海盆域における海洋表層の二酸化炭素とメタンの分布及び変動要因

石井雅男 (気象庁気象研究所)

11:45 北極域上空における温室効果気体の変動

町田敏暢 (国立環境研究所)

12:00 Modelling of greenhouse gases and related species in the Arctic environment

Prabir K. Patra (海洋研究開発機構)

12:15 昼食 (60分)

データアーカイブ 座長:榎本浩之 (国立極地研究所)

13:15 北極域データアーカイブの開発と課題

矢吹裕伯 (国立極地研究所)

雪氷 座長:榎本浩之 (国立極地研究所)

13:30 北極圏の氷河群変動と気候影響

榎本浩之 (国立極地研究所)

13:45 グリーンランド北西部における溢流水河の質量減少

津滝俊 (国立極地研究所/
北海道大学低温科学研究所)

14:00 北極域の広域積雪観測と気候影響

堀雅裕 (宇宙航空研究開発機構)

14:15 北極域積雪中のブラックカーボン及びダストに関する研究

東久美子 (国立極地研究所)

14:30 休憩 (15分)

大気 座長:浮田甚郎 (新潟大学)

- 14:45 北極気候に関わるブラックカーボン・エアロゾルと雲微物理量
- 15:00 北極域の雲と特性と海氷相互作用研究
- 15:15 北極域の海氷減少が中緯度に及ぼす影響と対流圏-成層圏結合

- 小池真 (東京大学)
- 岡本創 (九州大学)
- 山崎孝治 (国立極地研究所/北海道大学)

モデル 座長:野沢徹 (岡山大学)

- 15:30 雪氷新過程導入によるGCM地表気温バイアスの改善
- 15:45 CMIP5気候モデルにおける夏季北ユーラシアの降水再現性
- 16:00 Seasonal evolution of surface temperature changes over the Arctic Ocean under global warming in CMIP5 models
- 16:15 休憩 (15分)

- 大石龍太 (国立極地研究所/
東京大学大気海洋研究所)
- 廣田渚郎 (国立極地研究所/
東京大学大気海洋研究所)
- Laine Alexandre (国立極地研究所/
東京大学大気海洋研究所)

海氷・北極海航路 座長:島田浩二 (東京海洋大学)

- 16:30 北極海氷海洋のモデリングと予測システム
- 16:45 衛星データを用いた北極海の海氷中期予測
- 17:00 衛星観測データから計算された海氷運動ベクトルを利用した力学的な積み重なりによる海氷厚増大の推定
- 17:15 アラスカ沖バロー沿岸ポリニャに関する観測・衛星・モデル融合研究
- 17:30 1日目終了

- 羽角博康 (東京大学大気海洋研究所)
- 木村詞明 (国立極地研究所/東京大学)
- 吉澤枝里 (東京海洋大学)
- 平野大輔 (国立極地研究所)

2016年3月4日(金)

<各研究課題等からの成果発表> (前日のつづき)

海氷・北極海航路 座長:島田浩二 (東京海洋大学)

- 9:30 北極海航路上の海氷厚モニタリング技術の開発

館山一孝 (北見工業大学)

海洋生態系 座長:菊地隆 (海洋研究開発機構)

- 9:45 チャクチ海における海洋酸性化:底層における長期の炭酸カルシウム未飽和
- 10:00 海氷減少に対する基礎生産者の応答
- 10:15 北極海に輸送された太平洋産プランクトンの運命
- 10:30 休憩 (10分)

- 川合美千代 (東京海洋大学)
- 藤原周 (海洋研究開発機構)
- 松野孝平 (国立極地研究所/北海道大学)

<各戦略研究目標からの成果発表> 座長:高田久美子 (国立極地研究所/国立環境研究所)

- 10:40 北極域における温暖化増幅メカニズムの解明
- 11:10 全球の気候変動及び将来予測における北極域の役割の解明
- 11:40 北極-中緯度気候リンクの理解に向けて
- 12:10 昼食 (60分)
- 13:10 北極海環境変動研究:海氷減少と海洋生態系の変化
- 13:40 北極海航路の利用可能性評価につながる海氷分布の将来予測

- 野沢徹 (岡山大学)
- 杉本敦子 (北海道大学)
- 浮田甚郎 (新潟大学)
- 菊地隆 (海洋研究開発機構)
- 島田浩二 (東京海洋大学)

<総括-成果のまとめ>

- 14:10 GRENE北極事業における5年間の成果

山内恭 (国立極地研究所)

<ポスターセッション>

- 14:30 14:30- コアタイム 1
- 15:05- コアタイム 2
- 15:40- コアタイム終了、引き続きポスターセッション
- 16:30 研究成果報告会 終了

<懇親会> 18:00-20:00 立川グランドホテル 4Fカルロの間

※プログラムや発表タイトルは都合により変更する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

4. お問い合わせ先

情報・システム研究機構国立極地研究所 国際北極環境研究センター 企画・情報チーム
E-mail: aerc-kikaku@nipr.ac.jp TEL: 042-512-0921